

Let's  
健康おきなわ21  
リレーエッセイ⑦

## 食品衛生協会八重山支部における 食の安心・安全の取り組み

沖縄県食品衛生協会八重山支部

支部長 赤山 丈人

食品は私たちの生命や健康に深く関わりその衛生を確保することは健康な日常生活を営む上でとても重要です。

沖縄県食品衛生協会八重山支部では、食品関係事業所及び、消費者に対して食品衛生思想の普及・啓発を図っており、食の安心・安全に取り組んでおります。

れぐれも気をつけて頂き、食中毒予防の三原則である、菌をつけない、ふやさない、やっつけるを守って頂き食の安心・安全をテーマに大型スーパーへ立ち入り、衛生監視指導をし、食中毒予防のパンフレット配布をしています。

また昨年度より新たに食品を取り扱う業者従業員への手洗い指導をおこなっており、今年からは幼児施設・保育園へ手洗いマイスターによる実演指導をおこない手洗いの大切さ、重要性を知って頂きました。

今後も他の幼児施設を訪問し先生方はもちろんですが子供たちへ手洗いの大切さを指導してまいります。

また現在は、飽食の時代で、あらゆる食べ物であふれ、いつでも手に入る事ができるため、偏った食生活になり過剰摂取や生活習慣の変化な

どから身体のバランスが崩れ、気付かないうちに体質が変化したり、体調不良になったりします。

食物がもつ効果・効能作用を利用して食べる人の体質や、体調を整える病気の予防、健康改善・維持・老化予防する食事はとても重要であります。そこで、健康な食生活にむけ、ヘルシーメニュー・薬膳料理・栄養と健康・禁煙に関する取組を飲食店経営者講習会

の中で開催しております。喫煙や受動喫煙によつてさまざまな健康への影響を防ぐため、吸っている本人の健康にとつてもよくないのは、もちろんですが周りの人の健康にも悪影響を及ぼしますので、飲食店での受動喫煙のない環境整備・禁煙・分煙を呼びかけ、禁煙施設認定登録を促進し、お客様が飲食店で快適な食事ができるように取り組んでまいります。



けんそう君  
沖縄県民の健康を増進するため一緒に頑張るキャラクターです

「Let's健康おきなわ21」は、八重山地区健康おきなわ21推進会議の構成機関・団体が『沖縄県の長寿復活に関する記事』を投稿しています。

八重山日報  
平成28年10月30日(日)